

2026年3月2日

【緊急声明】

イランをめぐる軍事行動の即時停止と、対話による平和的解決を強く求めます

生活協同組合コープしが
代表理事 理事長 白石 一夫

コープしがは、くらしと命を大切に生活協同組合として、アメリカ合衆国およびイスラエルによるイランへの軍事攻撃、ならびにそれに続く報復行為の応酬に対し、深い憂慮を表します。

一連の軍事行動と報復の連鎖により、一般市民、とりわけ子どもや女性を含む多くの罪のない人びとの命とくらしが脅かされていることに、強い懸念を抱いています。いかなる理由があろうとも、民間人の犠牲を拡大させる行為は決して許されるものではありません。

核関連施設を含む軍事攻撃は、国連憲章および国際法の精神に照らして重大な問題をはらむ行為であり、ひとたび事故や破壊が生じれば、イラン国内にとどまらず、周辺地域、さらには地球環境全体に深刻な被害をもたらしかねません。核施設への攻撃をもたらすリスクは、人類全体が決して受け入れることのできないものです。今、国際社会に求められているのは、軍事力による解決ではなく、対話と外交による平和的解決です。

コープしがは、平和政策において「人類に平和の保障があってこそ、一人ひとりが大切にされ、豊かなくらしと未来を築くことができる」と考え、地域のくらしを支える事業や、組合員どうしのつながりを大切に活動に取り組んできました。

コープしがは、すべての当事国に対し、直ちに軍事行動を停止し、最大限の自制を行うことを強く求めます。また、国連をはじめとする国際的枠組みのもとで、核問題を含む諸課題を平和的に解決するための誠実な対話を再開することを強く要請します。

日本政府に対しては、戦争被爆国であり、生活者のくらしと安全に責任を負う立場として、国際社会と連携し、事態の沈静化と平和的解決に向けて積極的な外交努力を尽くすことを求めます。

コープしがは、子どもたちに平和な未来を引き継ぐため、核兵器の使用や戦争に断固として反対し、今後も組合員・地域のみなさんとともに、平和を求める声を発信し続けます。

以 上